



沈黙をやぶった女性たち  
日本軍による性暴力被害者179名のポートレートが来館者を迎えます。

## ごあいさつ

アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)は、日本で初めて戦時性暴力、とりわけ日本軍性奴隷制(日本軍「慰安婦」制度)に焦点をあてた記録と活動の拠点として、2005年8月にオープンしました。

wamは、日本軍性奴隷制の責任者を裁いた「女性国際戦犯法廷」(2000年、東京)を発案し、実現に奔走した故松井やよりさんの遺志を受け継いで設立されました。

①ジェンダー正義の視点で戦時性暴力に焦点をあて、②被害と同時に加害責任を明確に、③平和と非暴力の活動の拠点を目指し、④民衆運動として、⑤国境を越えた連帯活動を推進する、という5つの基本理念を持って運営しています。

wamでは特別展やセミナーの開催、調査と記録の保存・公開、連帯行動をとおして、戦争と暴力を生き抜いた女性たち一人ひとりの存在と人生に出会い、日本軍性奴隷制の加害責任に向き合ってもらいたいと願っています。

暴力と差別のない平和な未来を実現するための活動に、ぜひご参加ください。



ジャーナリストで活動家だった松井やよりさん。  
朝日新聞記者として人権、開発、女性、平和などをテーマに記事を書き続け、アジアと連帯する女性運動のさきがけでした。

## アクティブ・ミュージアム 「女たちの戦争と平和資料館」(wam)

開館:金・土・日・月 13:00~18:00

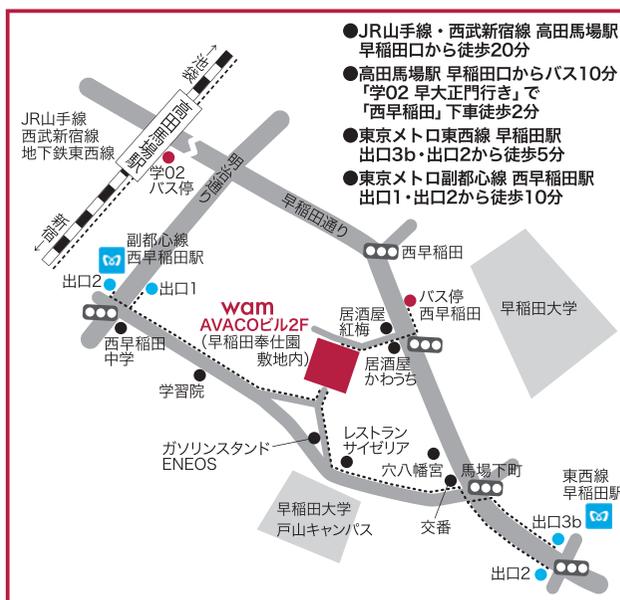
2月11日、2月23日、4月29日、11月3日は  
「祝わない」ため開館します。

休館:火・水・木・祝日(天皇制由来の上記4日を除く)  
年末年始・展示入替期間

入館料:18歳以上 500円  
18歳未満 300円  
小学生以下 無料



※障がいのある方の付き添いは無料です。



# wam

アクティブ・ミュージアム  
女たちの戦争と平和資料館

women's active museum  
on war and peace

アクティブ・ミュージアム「女たちの戦争と平和資料館」(wam)は  
NPO法人 女たちの戦争と平和人権基金の事業です。

〒169-0051 東京都新宿区西早稲田2-3-18 AVACOビル2F  
T: 03-3202-4633 F: 03-3202-4634 E: wam@wam-peace.org  
URL: <https://wam-peace.org/> Twitter: @wam\_peace

## アクティブ・ミュージアム 「女たちの戦争と平和資料館」(wam)

戦時性暴力の被害と加害を記憶し、  
学び、語り合い、行動を起こしていく  
記録と活動の拠点です。



# wam

# ようこそ アクティブ・ミュージアムへ！

## wam館内のように



●**展示** 年1-2回、テーマを絞った特別展を開催。常設展コーナーでは女性国際戦犯法廷で裁かれた日本軍性奴隷制の責任者のパネルも展示。



●**ライブラリー** 日本軍「慰安婦」問題や戦時性暴力に関する書籍、雑誌、映像などを閲覧できます。日本軍「慰安婦」裁判資料、支援団体のミニコミ、軍関連公文書がほぼ揃っているのもwamだけ。松井やよりさんが書いたすべての新聞記事や論文を取めたファイルも必見です。



●**オープンスペース** 感想や意見を交換するなど、様々な交流の場になっています。



アジア全域の慰安所が一目でわかる「日本軍慰安所マップ」は、wamの調査活動の成果のひとつ。



ウェブで公開中！

## ●特別展

- 第1回 女性国際戦犯法廷のすべて―「慰安婦」被害と加害責任 (2005年8月～11月)
- 第2回 松井やより全仕事 (2005年12月～2006年4月)
- 第3回 置き去りにされた朝鮮人「慰安婦」 (2006年4月～11月)
- 第4回 東ティモール・戦争を生きぬいた女たち―日本軍とインドネシア支配の下で (2006年12月～2007年5月)
- 第5回 中学生のための「慰安婦」展―すべての疑問に答えます！ (2007年6月～2008年5月)
- 第6回 ある日、日本軍がやってきた―中国・戦場での強かんと慰安所 (2008年6月～2009年6月)
- 第7回 証言と沈黙―加害に向き合う元兵士たち (2009年7月～2010年6月)
- 第8回 女性国際戦犯法廷から10年―女たちの声为世界を変える (2010年7月～2011年6月)
- 第9回 フィリピン・立ち上がるロラたち―日本軍に踏みにじられた島々から (2011年7月～2012年6月)
- 第10回 軍隊は女性を守らない―沖縄の日本軍慰安所と米軍の性暴力 (2012年6月～2013年6月)
- 第11回 台湾・「慰安婦」の証言―日本人にされた阿媽(アマ)たち (2013年7月～2014年6月)
- 第12回 中学生のための「慰安婦」展+ (2014年7月～2015年6月)  
緊急ミニ企画展 徹底検証！読売「慰安婦」報道 (2014年11月～2015年6月)
- 第13回 「アジア解放」の美名のもとに―インドネシア・日本軍占領下での性暴力 (2015年7月～2016年6月)
- 第14回 地獄の戦場・ビルマの日本軍慰安所―文玉珠さんの足跡をたどって (2016年7月～2017年7月)
- 第15回 日本人「慰安婦」の沈黙―国家に管理された性 (2017年8月～2019年2月)
- 第16回 朝鮮人「慰安婦」の声をきく―日本の植民地支配責任を果たすために (2019年3月～2020年11月)
- 第17回 天皇の戦争責任、忘却に抗する声―女性国際戦犯法廷から20年 (2020年12月～2021年12月)
- 第18回 中学生のための「慰安婦」展+教科書 (2022年1月～2022年11月)

## wamの多様な活動

### ●セミナー・シンポジウム

国際シンポジウム、セミナー、wam de video (映像上映と制作者・関係者のトーク)、wam de cafe (カフェスタイルで様々なテーマをめぐって語り合う) など、日本軍「慰安婦」制度をより深く理解するため、または女性や人権に関するその時々のできごとを学ぶイベントを開催しています。



### ●調査・出版・アーカイブズ

特別展パネルはカタログとして刊行、『wamだより』では「慰安婦」問題を中心に、wamの活動を伝えています。また「日本軍慰安所マップ」の追加・更新のための調査、証言記録を未来につなぐための「日本軍「慰安婦」アーカイブズ」実現に向けた記録の保存やデジタル化などに取り組んでいます。



### ●連帯行動

日本の政府や社会が日本軍性奴隷制の事実を認めるよう、国内外の団体と連帯して行動し、国連への情報提供も続けています。米軍基地や武力紛争下の性暴力など、軍隊による暴力をなくすために活動している団体のほか、アジア各地の「日本軍「慰安婦」博物館」や、女性、平和、人権をキーワードにした国内外ミュージアムとも連携しています。



## 会員になりませんか？

- 友の会年会費:3,000円 ●維持会員年会費:10,000円

会員には会報「wamだより」(年3回)のほかイベント案内などを逐次おしらせします。維持会員は入館料無料、各種セミナーや刊行物の割引もあります。

郵便振替口座番号:00110-2-579814

口座名称:「女たちの戦争と平和人権基金」係

その他の入金方法など詳細はウェブサイトをご覧ください。